

時代とともに変わりゆく富士川渡河と橋の整備の歴史。  
そして、令和の時代に「富士川かりがね橋」が開通。

# 富士川渡河の歴史



富士川かりがね橋

令和時代

平成時代



新東名

昭和時代

平安・鎌倉時代



浮橋

江戸時代



渡船



新幹線

明治時代



大正時代

富士川橋

富士川鉄橋

明治維新以降、富士川には橋が架けられます。自動車が通行する橋の完成から約100年、国道1号BP橋の完成から約50年の時を経て。

# 富士川渡河の年表

平安・鎌倉時代

浮橋【一遍上人絵伝】  
一二八二年

江戸時代

防衛上等の理由により  
船による渡河  
【東海道の宿場制度】

明治時代

富士川鉄橋【東海道本線】  
一八八九年

大正時代

富士川橋【県道】  
一九二四年

昭和時代

富士川橋梁【新幹線】  
一九六四年

富士川橋【東名高速道路】  
一九六八年

新富士川橋【国道1号】  
一九七一年

平成時代

富士川橋【新東名高速道路】  
二〇一二年

令和時代

富士川かりがね橋【県道】  
二〇二四年三月

一般道路では約50年振りの開通